

1 日時 令和6年6月21日(金) 5校時(13:40~14:25)

2 場所 新谷小学校 体育館

3 単元名 全員アタック ワンキャッチ バレーボール(ボール運動領域 ネット型)

4 授業づくりに関する考え方

(1) 子どもの実態と教材の特性

子どもの実態	<p>○ 本学級は、明るく活発に体を動かすことを好む児童が多い。ボールゲームに関する意識調査(令和6年5月9日(木)実施/別紙)を行ったところ「ボールを使ったゲームは好きか」の項目に88%の児童が好意的な回答であった。しかし、ネット型のゲームにおいては、「パスが繋がらない」「レシーブしたボールがねらったところに打てない」など連携プレイの基本的な動きや、ゲーム状況に応じた動きを苦手とする児童が多いことが分かった。これまでのゲームの学習において、ボール操作における子ども間の技能差から、協働的なプレイが成り立っていなかったのではないかと考えられる。(知識及び技能)</p> <p>○ これまで、様々な学習場面において、全員が楽しめるルールを考えたり、器械運動においては技を上手くするにはどうすればよいかなどを話し合ったりする場を設けてきた。それぞれの課題解決に向けた話し合いを通して、できる喜びや運動の楽しさを感じてきている。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○ どの活動にも意欲的に取り組んでいる。体育授業における役割分担から「する」だけでなく「見る・支える・知る」の重要性にも気付くことができている。運動を様々な角度から楽しむことができるようになってきている。(学びに向かう力、人間性等)</p>	教材の特性	<p>バレーボールの本質的な面白さは協力して「ラリーをつなげること」「相手の攻撃を打ちきること」と考える。仲間とともにボールをつなげていく中で一体感を得ることができる。そして、そのつなげていくことを土台にして、ラリーを打ちきることによって、喜びを分かち合うことができる。</p> <p>今回扱う「全員アタック ワンキャッチ バレーボール」は、アタックで得点を決めたいという子どもの思いや願いを実現し、チーム全体で協力して行うことができるソフトバレーボールである。相手のアタックをワンバウンドでキャッチしてもよいというルールから、どんな難しいボールや強いアタックでも、チームで協力してボールをつないでいくことができる。更に、コート内の人数を3人にする事で、役割を明確化することができる。チームとして一体感も得ることができやすく、チームの連携プレイも期待できる。</p> <p>児童の実態から、単元前半は「ワンバン ワンキャッチ バレー」を行い、よりボール操作をやすくし、連携プレイの意識を持たせる。単元後半からは、より意図的な戦術を実現できるようにさせるために、ノーバウンドの「全員アタック ワンキャッチ バレーボール」を行う。ボール操作が得意な児童だけでゲームを成立させるのではなく、メンバー全員による連携プレイを積極的に行わせることをねらいとしている。</p>
--------	--	-------	---

(3) 単元計画

ア 研究の視点及び手立て			イ 評価基準					
	教材とつながる	仲間とつながる	自分とつながる	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む		
	① 全ての子どもが意欲的にボール運動に親しむために、易しい運動となるようにする。また、教材の本質的な面白さに気付かせ、できる楽しさや喜びにつなげる。	② 支持的風土を高めるための言語モデル(ハッピーワード)や、「本日のMVP」を子どもとともに作っていき、仲間との対話の必要性やつながりを感じさせる工夫をする。	③ 自分自身やチームの学びの成果や課題を振り返る場を整えることで、学びへの意欲を持たせ、次の学習への意欲につなげる。	ア 「全員アタック ワンキャッチ バレーボール」の行い方を理解している。 イ ボール操作やボールを持たない時の動きによって、味方が受けやすいようにボールをつないだり、相手コートにボールを打ち返したりすることができるようにする。	ア ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を立てたりしている。 イ 課題解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ア 運動に積極的に取り組んでいる。 イ ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ウ 仲間の考えや取組を認めようとしている。 エ 分担された役割を果たそうとしている。		
ウ 単元における指導と評価の計画								
時	1	2	3	4	5	6(本時)	7	8
学習の流れ	オリエンテーション ・学習のねらい ・学習の進め方 ・ルール・マナー ・学習カード・役割分担	基本的なボールの触れ方や動きを知ろう ○ 基本的なボール操作やルール等を確認する。【視点①】	相手コートに返すための「つなげる」バレーをしよう ○ チームごとに作戦を考えながら実行し、チーム技能を高めたり、チームに合った作戦を練習したりする。【視点②③】	「つなげる」バレーからアタックを決めよう ○ ネットの近くにボールを集め、意図的な戦術を考えさせる。【視点②】	アタック成功率をあげよう ○ アタックの成功率を上げるための工夫を考えさせる。【視点②】	アタック成功率をあげよう ○ アタックの成功率を上げるための工夫を考えさせる。【視点②】	もっと楽しむためのバレーをつくろう ○ みんなが楽しめるルールづくりをし、試しのゲームを行う。【視点②】	リーグを開催しよう ○ チームの作戦を決め、意図的な攻防ができるようにする。【視点②】
評主	ア(様態)	ア、イ(様態)	ア、イ(様態)	イ(様態)	イ(様態)	イ(様態)	イ(様態)	
価		ア、イ(様態、ノート)	ア、イ(様態、ノート)	ア、イ(様態、ノート)	ア、イ(様態、ノート)	ア、イ(様態、ノート)	ア、イ(様態、ノート)	
態	ア(様態)	ア(様態)	ア(様態)					イ、ウ、エ、(様態、ノート)

(2) 単元構成

ア 単元目標

- ボール操作やボールを持たないときの動きによって、チームの連携プレイによるゲームを行うことができるようにする。(知識及び技能)
- ルールを工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりするとともに、自分や仲間の考えを伝え合うことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- 運動に進んで取り組み、ルールを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたりすることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

イ 本単元で身に付けさせたい力の系統表

学年 観点	低学年 ＜ココロバレー＞	中学年 ＜ふらば～るバレー＞	高学年 ＜全員アタック ワンキャッチ バレーボール＞
能 知 識 及 び 技	ゲームの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって易しいゲームをすることができる。	ゲームの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボール操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすることができる。	バレーボールの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たない時の動きによって、チームの連携プレイによる簡易化されたゲームをすることができる。
力 断 思 等 力 考 、 表 現 判	簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。	ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じて作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者(自己や仲間)に伝えることができる。
性 う 学 等 力 び に 人 間 間 か	進んで取り組み、ルールを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。	進んで取り組み、ルールを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。	積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。

ウ 本単元を通して育てたい子ども像(ゴールイメージ)及び教師の願い

「分かる」「できる」喜びを感じ、仲間とともに運動を楽しむ笑顔あふれる子ども  
 「全員アタック ワンキャッチ バレーボール」を通して、ラリーをつなげるための技能・打ちきするための技能を習得し、「分かる」「できる」喜びを味わわせたい。また、バレーボールの本質的な面白さを感じながら、運動を楽しませたい。

- (1) 目標
- ボール操作とボールを持たない時の動きを意識して味方が受けやすいようにボールをつないだり、相手コートにボールを打ち返したりすることができる。(知識及び技能)
  - 自己や仲間の考えたことを伝え合い、チームの特徴に応じた作戦やルールを決めることができる。(思考力、判断力、表現力等)

- (2) 準備物
- 教師 ソフトバレーボール、ビブス、ワークシート
  - 子ども 筆記用具、ワークシート

(3) 展開

(おおずの授業スタンダード)			
	㊦ =ひきだそう学習意欲	㊧ =じっくり考える時間の確保	
	㊨ =かんがえを交流させる活動	㊩ =わかったこと	
学習活動	時間	○ 主な発問 (●中心発問) ・ 予想される児童の反応	○ 指導上の留意点 ■ 苦手な子ども・意欲的でない子どもへの支援・配慮 ● 評価基準(方法)【観点】 ☆ 研究の視点
㊦ 1 準備運動をする。	10	○ 準備運動をしよう。 ・ パス練習 ・ 円パス ・ アタック練習	○ 準備運動の際に BGM をかけ、運動に前向きに取り組むようにさせる。 ■ 失敗した時の声掛けを必ず行うようにし、支持的風土を高める。
2 本時の課題を知る。	5	○ 今日のめあてを確認しよう。 更にアタック成功率をあげよう	○ コート上にラインを追加することにより、立ち位置を意識させる。
㊧ ㊨ 3 試合形式で練習をする。(試しのゲーム)	13	○ これまでの学習を生かし、チームで作戦を立てよう。 ○ 作戦通りに動くことができるように練習しよう。 ・ ネットの近くの人にボールを返せるようになろう。 ・ アタックは相手の足元をねらおう。 ・ トスの仕方を工夫しよう。	● 自己やチームの特徴を考え、考えたことを仲間に伝えることができる。 (様態、ノート)【思・判・表】 ■ 「する・見る・支える・知る」の役割を明確にし、運動を多様に楽しめるようにする。 (審判・得点・記録(タブレット使用))
4 試合をする。 (競技) 支える(審判) 見る、知る(観客) 6分	12	○ 練習したことを生かして、試合をしよう。 ・ 早く落下点に入ろう。 ・ 練習したことを生かそう。 ・ 審判や声掛けもきちんとしよう。 ・ 勝てるといいな。	● チームの作戦を理解し、味方が受けやすいようにボールをつないだり、相手コートにボールを打ち返したりすることができる。(様態)【知・技】
㊩ 5 振り返りをする。	5	○ 今日の学習を振り返ろう。 ・ どうすればよりうまくなれるかな。 ・ トスまでの動きを早くしよう。 ・ ネット際で正確にあげるといいかな。 ・ 次からのバレー楽しみだな。	○ 協働的な学びの手立てとして、ハッピーワードや「本日の MVP」を紹介する。 ○ 自分やチームの活動を振り返り、次時からのリーグ戦に意欲を持たせられるようにする。

- (4) 本時の研究の視点
- 「全員アタック ワンキャッチ バレー」のルールは、できる楽しさや喜びにつながるための手立てとして有効なものとなっていたか。  
【教材とつながる】
  - 言語モデルの整備(ハッピーワード)や、「本日の MVP」などの手立ては、協働的な学びを活性化させる手立てとして有効であったか。  
【仲間とつながる】【自分とつながる】

- (5) 子どもの自己評価
- 子どもの自己評価として以下のアンケートを実施する。個別指導に生かしたり、授業改善に生かしたりできるようにする。

今日の体育の授業はどうでしたか。

- 1 深く心に残ることや、感動することがありましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 2 今までできなかったこと(運動やコツ)ができるようになりましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 3 「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と思ったことがありましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 4 せいっぱい、全力をつくして運動することができましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 5 楽しかったですか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 6 自分から進んで学習することができましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 7 自分のめあてに向かって、何回も練習できましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 8 友達と協力して、仲良く学習できましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)
- 9 友達とおたがいに教えたり、助けたりしましたか。(はい・どちらともいえない・いいえ)

(6) 基本的なルール

- ★ コートはバドミントンコート
- ★ ボールは MIKASA (100g) を使用。
- ★ コート内に3人入る。1チームは6人(5人)。(ローテーションあり)
- ★ 相手コートから返ってきたボールは、ワンバウンドした後にキャッチしても OK。(ボールは3回以内に返球する。)
- ★ キャッチをしたあとは、ボールを持って自由に動いてトスをあげることができる。
- ★ サーブはコート内のどこからでも行ってよい。(投げ入れても構わない。)
- ★ 得点は全員がアタックを決めることで、倍になる。  
(アタックの成功=アタック後に、相手チームがボールをレシーブ、あるいはキャッチすることができない。)
- ★ 制限時間 6分以内に得点を多くとったチームが勝ちとなる。
- コート内の人数を少なくすることで、全員がゲームに参加しやすくする。
- コート外の児童に審判や観戦(アドバイス)をさせることで、競技以外の面からも運動に親しめるようにする。

実態に応じて

ふらば〜るバレーの使用

ワンバン ワンキャッチバレー  
(ワンバン・セッターのキャッチ)

全員アタックワンキャッチ  
(セッターがキャッチ)



## 【参考資料】 事前アンケート結果 5/9(木)実施 6年 29名

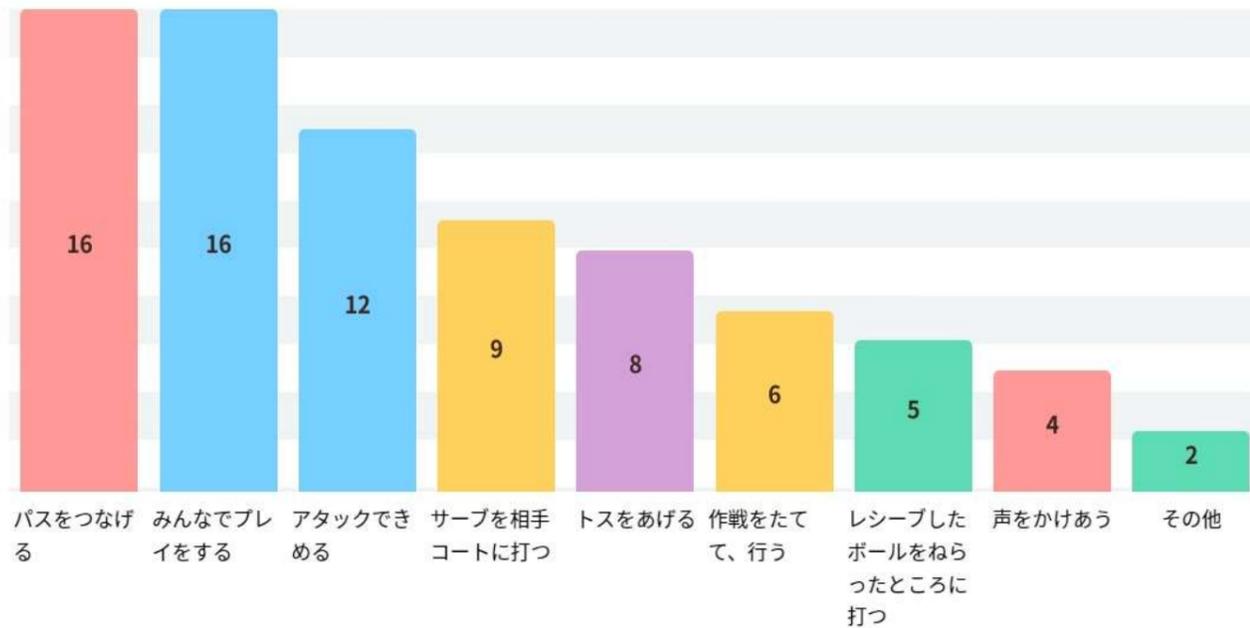
【1】 あなたはボールを使った運動について どう思いますか

棒グラフ 円グラフ



【2】 ※ ここからはバレーについての質問です  
バレーをしていて、どんなことが楽しいですか（3つ）

棒グラフ 棒グラフ(組み合わせ) 円グラフ



### その他（記述）

- ・ サーブで決めること

【4】 ※ ここからはバレーについての質問です  
バレーをしていて、どんなことにこまりますか（3つ）

棒グラフ 棒グラフ(組み合わせ) 円グラフ



### その他（記述）

- ・ 一部の人だけがしている。
- ・ みんなで楽しみたい。